

C101		インド学	
英名科目名	Indology		
大学名	大谷大学		
連絡先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150		
担当教員	上野 牧生		
開講期間	2021年04月06日(火)～2021年07月27日(火) 4講時 14時40分～16時10分(毎週火曜日) 休講 2021/05/04(火) 2021/07/27(火)は試験日の為、京カレッジ生は出席不要です。		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	
単位数	2	履修年次	2～4学年
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80		
単位互換生定員	20	京カレッジ生定員	20
試験・評価方法	授業期間内に実施される3回の小テストと、授業の最終回に実施される筆記試験を総合して、成績を評価する。 授業内試験 100% 授業期間内に3回の小テストを実施する。また授業の最終回に筆記試験(資料・ノートの持ち込み不可)を実施する。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	聴講料 15,000円		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>【質問・相談の方法】 授業終了後、質問に対応する。</p> <p>【担当者からの連絡】 私語厳禁。他の受講者の妨害となるからである。授業時にスマートフォンをずっと見ている、あるいは長時間の居眠りなどの行為が確認された場合には、学生証を提示させた上で、退室を命じる。配布資料の再配布および事前配布は行わない。欠席した授業時に配布された資料は他の出席者から借りてコピーをとること。 受講生の興味・関心に合わせ、授業計画を変更することがある。 受講者は、既にサンスクリット初等文法を履修済みであることが望ましい。</p> <p>本学では、対面授業を想定して開講いたしますが、今後の新型コロナウイルス感染状況次第では、実施方法やスケジュールに変更があることをご了解ください。変更等については、e京都(いーこと)ラーニングシステムを通じて掲示・連絡いたします。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標	<p>【授業テーマ】 仏教文献学的前提としてのインド古典文献学</p> <p>【授業概要】 この科目の名称である「インド学」とは、厳密にはインド古典文献学を指す。そこに現代インドは含まれない(現代インドを対象とする学術分野は「南アジア学」などと呼ばれる)。また、本科目は仏教学科の開講科目であるため、本科目が対象とするのは「仏教学の前提」としてのインド古典文献学である。したがって本科目はインド学研究のためのインド学を志向していない。現代インドについても扱わない。この点、注意を要する。 インド古典は、人類の知的遺産と呼ぶにふさわしい。世界最古の文献『リグ・ヴェーダ』、世界最大の叙事詩『マハーバーラタ』、サンスクリット詩作品の最高峰カーリダーサ作品など、読まれるべき古典が山ほどある。この授業では、そうした代表的なインド古典を</p>		

取り上げ、それぞれの研究史を掘り下げながら、インド古典文献学が仏教学(インド仏教文献学)にもたらしたものをひとつずつ確認したい。

#### 【学習到達目標】

インド古典文献学の研究方法とそれが形成されるに至った歴史的経緯を知る。

インド古典文献の内容を理解することにより仏教文献の理解を深める。

#### 講義スケジュール

##### 【学習内容】

1. 担当者による授業ガイダンス
2. 現存最古のカーヴィヤ：アシュヴァゴーシャの『ブダチャリタ』
3. 現存最古のカーヴィヤ：アシュヴァゴーシャの『サウンダラナンダ』
4. 史上最上のカーヴィヤ：カーリダーサの劇作品『追憶のシャクンタラー姫』
5. 史上最上のカーヴィヤ：カーリダーサの詩作品『雲の使者』『ラグの系譜』『季節集』
6. インド古典学の精髄：『バガヴァッド・ギーター』(1)
7. インド古典学の精髄：『バガヴァッド・ギーター』(2)
8. インド最大の叙事詩：『マハーバーラタ』(1)
9. インド最大の叙事詩：『マハーバーラタ』(2)
10. インド最上の叙事詩：『ラーマヤナ』
11. ヴェーダ文献
12. 『鸚鵡七十話』ほか
13. パルトリハリ『離欲百頌』ほか
14. 『マヌ法典』などダルマシャーストラと『実利論』などアルタシャーストラ
15. 筆記試験

##### 【授業方法】

- 第1回：担当者による説明  
第2～3回：口頭での解説による講義  
第4回：前回までの内容に関する小テスト・口頭での解説による講義  
第5回：口頭での解説による講義  
第6回：前回までの内容に関する小テスト・口頭での解説による講義  
第7～10回：口頭での解説による講義  
第11回：口頭での解説による講義・小テスト  
第12～14回：口頭での解説による講義  
第15回：授業内での筆記試験

##### 【準備学習(予習・復習)・時間】

- 第1回：事前にシラバスを読んでくること。30分  
第2～14回：前回授業の内容や配布資料を復習してくること。30分  
第15回：事前に試験対策を入念に行うこと。筆記試験は資料・ノートの持ち込み不可。60分

教科書 適宜プリントを配布する。

参考書 授業時適宜紹介する。